

●第1回策定委員会 意見対応表

No.	発言者	関連箇所	意見・指摘事項	対応方針
1	A 委員 委員長	第 1 回 資 料 P12	<ul style="list-style-type: none"> ・人口密度が具体的にどこの地域で減少しているのかを把握できているか。 ・メッシュ単位でどの程度減少しているかといった分析は必要であり、今後詳細な分析で実施していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・メッシュを用いた人口分布の分析を実施しました。(資料編 P23～P26,31)
2	B 委員 C 委員 委員長	第 1 回 資 料 P12	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が 20 年後にどうなるかといった検討における土台をつくらなければいけないのではないかな。 ・高齢化率についても場所と合わせた分析があるとよい。 ・高齢化率だけでなく、高齢者数のメッシュを示していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人口構成比や高齢化率の推計を実施したうえで、今後、計画案の策定を進めていきます。【今後の対応】 ・老年人口の分布と増減についてメッシュで分析を実施しました。(資料編 P27～P30)
3	委員長	第 1 回 資 料 P12	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家分布の現状についても検討材料となる。空き家は世帯数が影響するため、世帯の現況・予測も分析していただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯数の推移について分析を実施しました。将来世帯数については、市町村単位での推測が実施されておらず、県の世帯人員の動き方と同様と仮定し推計を行いました。(資料編 P17)
4	C 委員	第 1 回 資 料 P16	<ul style="list-style-type: none"> ・任意の区域設定とあるが、市街化区域の外に拡大をしていくという認識でよいかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域に関する任意の区域設定の方針について記載します。(P54)
5	C 委員	第 1 回 資 料 P16	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況に対する検討について、固定資産税の軽減等、居住者への施策があると思うが、国による支援措置に特化するものかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況も踏まえながら、今後調整しながら検討していきます。【今後の対応】
6	副委員長 委員長	第 1 回 資 料 P16	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域の検討において、「都市計画マスタープランの土地利用方針と調和を図る」とあるが、P24 にある市街化調整区域の方針との調和を指しているのか。 ・市街化区域編入を目指すところに限るべきではないか。集落維持は大切であるため、立地適正化計画とは別の枠組みで検討してみてもどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域に関する任意の区域設定の方針について記載します。(P54)

No.	発言者	関連箇所	意見・指摘事項	対応方針
7	副委員長 委員長	第 1 回 資 料 P16	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域に居住する方が見捨てられるという気持ちにならないよう、別の施策の中で取り組むことを話しながら全体のバランスをとっていくことが重要である。 ・原則市街化区域内の計画であること、それ以外を見捨てるわけではなく、他の計画で言及しているということを明確にしていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化調整区域に関する任意の区域設定の方針について記載します。(P54)
8	A 委員 委員長 副委員長	第 1 回 資 料 P16	<ul style="list-style-type: none"> ・「3 世代すまいる支援事業」と情報共有を図り、まちづくりへ生かしてほしい。 ・しかるべきところにのみ補助する、もしくは居住誘導区域であれば補助を拡充することなどが考えられる。 ・立地適正化計画策定後、誘導区域内に誘導していく際に、この制度とリンクできるとよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の検討段階において、所管部署とも連携を図りながら検討します。【今後の対応】
9	G 委員 委員長 H 委員	第 1 回 資 料 P16	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の課題について、コミュニティバスだけではなく路線バス・鉄道も含め、全体で地域にとって最適なものを検討していくことが必要と考える。 ・公共交通に係る検討方針は、コミュニティバスのみならず、鉄道などの交通手段を含めて検討すべきである。 ・20 年後の姿を描いていく計画であるため、立地適正化計画と公共交通計画とで方向性がずれているとよくない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レベル感については検討の余地があるが、関係部署と連携を図りながら検討を進めていきます。【今後の対応】 ・公共交通に関する課題を設定しました。(P31) ・公共交通に関する基本的な方針を設定しました。(P37)
10	ワザバー 委員長		<ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域の拡大に関し、市街化区域内の空き家や低未利用地の活用施策についても引き続き検討してほしい。 ・まずは市街地内でできることを検討し、それでもできないから市街地外で検討をするという流れで進めるべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低未利用地や空家の現状に関する分析を実施しました。(資料編 P36～41) ・課題や方針にこれらの活用を位置付けるとともに、今後活用施策について検討していきます。【今後の対応】

No.	発言者	関連箇所	意見・指摘事項	対応方針
11	I 委員 J 委員		<ul style="list-style-type: none"> ・市域西側の祖父江地域などは人口密度が低く、高齢化率が高く、空き家が多い。居住を誘導するための有効な方策も検討してほしい。 ・平和地域も過疎化が進み、中心部への転出が進んでいるため、その流れを食い止める方策の検討をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・祖父江、平和地域の市街化区域についても、居住誘導のための方策を検討していきます。【今後の対応】 ・祖父江、平和地域のコミュニティ維持について課題・方針を設定します。(P30、37) ・祖父江、平和地域においても誘導区域等の設定を検討します。(第4章)
12	委員長		<ul style="list-style-type: none"> ・災害リスクについても L2（想定最大規模）のみでなく、解像度を上げた分析を今後お願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・L2（想定最大規模）の浸水区域のみでなく、L1（計画規模）の分析を実施しました。（資料編 P68～P69）